

本市が誕生した2004年10月12日から20年の月日が経ちました。この20年間のさまざまな出来事を紹介します。市ホームページでも年表を掲載していますので、ご覧ください。



▲市ホームページ

2004(平成16)年

- ・薩摩川内市誕生
- ・森京朗初代市長就任

2005(平成17)年

- ・市章・市民憲章を制定
- ・市内48地区全てにコミュニティ協議会設立
- ・蘭牟田池がラムサール条約湿地に登録

2006(平成18)年

- ・ファミリー・サポートセンター開所
- ・市総合計画・基本計画決定
- ・川内大綱引が県指定無形民俗文化財に指定

2007(平成19)年

- ・蘭牟田瀬戸架橋事業着手式を開催
- ・県立川薩清修館高校が開校
- ・南九州西回り自動車道(薩摩川内郡IC)・串木野IC)開通

2008(平成20)年

- ・岩切秀雄市長就任
- ・東郷文弥節人形浄瑠璃が国の重要無形民俗文化財に指定

2009(平成21)年

- ・市内の全小中学校で小中一貫教育を開始
- ・市民歌「輝け未来」制定
- ・甌島で恐竜の化石発見
- ・甌島のトシドンがユネスコ無形文化遺産に登録

2010(平成22)年

- ・子ども医療費助成制度開始(県内初)
- ・防災行政無線戸別受信機の設置開始
- ・韓国定期コンテナ船「週2便化」

2011(平成23)年

- ・九州新幹線全線開業
- ・観光船「かのこ」就航

2012(平成24)年

- ・川内汚泥再生処理センター供用開始
- ・韓国昌寧郡との友好都市協定の締結
- ・市スポーツ交流研修センター供用開始

2013(平成25)年

- ・住民票写しなどのコンビニ店舗での交付(県内初)
- ・「サンアリーナせんだい」がバレーボール強化センター(リオ五輪に認定)
- ・中国定期コンテナ航路・同際(神戸)・フィリピン・南九州西回り自動車道(薩摩川内郡IC)・薩摩川内水引IC)開通

2014(平成26)年

- ・高速船甌島就航
- ・市消防庁舎移転
- ・旧増田家住宅が国の有形文化財に指定



2004~2024

20年の歩み



2015(平成27)年

- ・甌島が国定公園に指定
- ・南九州西回り自動車道(川内高江IC)・薩摩川内郡IC)開通
- ・台風15号襲来。長引く停電。
- ・国民文化祭・かこしま2015開催

2016(平成28)年

- ・天辰寺前古墳公園が開園
- ・市350ベジライフ宣言
- ・子ども医療費助成対象年齢を18歳まで拡充
- ・台湾定期コンテナ航路が開通
- ・川内とれたて市場がオープン

2017(平成29)年

- ・樋脇グラウンド・ゴルフ場オープン
- ・川内港から中国常熟港へ直行便による木材輸出が開始

2018(平成30)年

- ・市総合防災センター開所
- ・幼児教育無償化の一部を先行実施
- ・米訪神・仮面・仮装の神々「ユネスコ無形文化遺産登録(2009年登録の「甌島のトシドン」の拡張登録)

2019(平成31・令和元年)

- ・東郷学園義務教育学校が開校
- ・「薩摩の武士が生きた町」武家屋敷群「甌」を歩く」が日本遺産認定(入来麓、里麓、手打麓)
- ・重要港湾川内港30年ぶりの港湾計画改訂

2020(令和2)年

- ・入来神舞が県の無形民俗文化財に指定
- ・県内最長の甌大橋が開通
- ・田中良三市長就任

2021(令和3)年

- ・川内駅コンベンションセンター「SSプラザせんだい」がオープン
- ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種開始
- ・市公式LINEを導入し、広報活動を実施
- ・甌島振興局を開庁

2022(令和4)年

- ・川内港が「ポート・オブ・ザ・イヤー2021」を受賞
- ・市内全域の光ファイバ網が完成
- ・国のSDGs未来都市に選定

2023(令和5)年

- ・入来麓交流館が開館
- ・甌島に外国籍クルーズ船初寄港
- ・デジタル地域通貨「つんPay」運用開始(子育て応援券、産後ケア応援券)
- ・特別国民体育大会、特別全国障害者スポーツ大会
- ・九州・台湾クリエイティブウィーク in 薩摩川内

2024(令和6)年

- ・川内大綱引が国の重要無形民俗文化財に指定
- ・祁答院小学校が開校
- ・子ども家庭センターを設置



薩摩川内市誕生 20周年記念式典

10月12日、SSプラザせんだいで薩摩川内市誕生20周年記念式典を執り行いました。一部の式典では、市政発展のために功績のあった方々を市政功労者として表彰しました。また、新型コロナウイルス感染症対策に係る協力団体、特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」開催に係る協力団体に対して特別表彰感謝状の贈呈を行い、来賓からの祝辞などもありました。

市政功労者

(敬称略・順不同)

〈主な役職／氏名〉

【地方自治部門】

元市議会議員 永山 伸一
元市議会議員 今塩屋 裕一
元市議会議員 福元 光一
元市議会議員 持原 秀行
元市選挙管理委員会委員 大久保 捷子
元副市長 知識 博美
消防団大隊長 平嶺 元章
消防団方面隊長 別府 生次
消防団方面隊長 白瀬 良照
元地区コミュニティ協議会会長 草留 嘉徳
元地区コミュニティ協議会会長 諏訪 六雄

【社会福祉部門】

元民生委員・児童委員 東 洋一
元民生委員・児童委員 内田 里子
元民生委員・児童委員 梶原 尚美
元民生委員・児童委員 郭 長治
元民生委員・児童委員 若田 吉朗
元民生委員・児童委員 窪田 美由喜
元民生委員・児童委員 藤井 清子
元民生委員・児童委員 福山 義幸
元保護司 藏元 保海
元母子寡婦福祉会会長 奥園 和子
元医師 福山 廣
元医師 前昌 良裕
元川内市医師会会長 久留 敏弘
元市食生活改善推進員協議会会長 森永 靖子
元市食生活改善推進員協議会会長 森永 靖子
元市食生活改善推進員協議会会長 森永 靖子
市食生活改善推進員 福岡 照美
市食生活改善推進員 谷口 ヨツ子
戦没者遺族相談員 出原 菊芳
【産業経済部門】
元市農業委員会会長 有村 四男
市農業委員会委員 薬師寺 しげ子
元薩摩川内市商工会会長 今藤 尚一

元自治会長 今井 庵子
元自治会長 由井蘭 洋司
元自治会長 慶田 好美
元自治会長 水溜 貞美
元自治会長 下田 幸男
元自治会長 瀬戸東 秀司
元自治会長 中塚 常夫
元自治会長 出口 政和
元自治会長 内田 正秋
元自治会長 田中 正憲
元自治会長 廣瀬 春雄
元自治会長 西原 義尚
元自治会長 岩元 正純
元自治会長 馬場 利雄
元自治会長 柳 幸次郎
元自治会長 下野 幹夫
元自治会長 橋野 勝彦
元自治会長 飯屋 立夫
元自治会長 有村 義博
元自治会長 山口 富貴夫
元自治会長 高木 得次

元自治会長 下満 和美
元自治会長 今井 浩生
元自治会長 谷口 信一
元自治会長 山口 隼人
元自治会長 寺川 一徳
元自治会長 上田 勇治
元自治会長 時吉 正男
元自治会長 福山 弘昭
元自治会長 小園 清秀
元自治会長 山口 正喜
元自治会長 山元 一彦
元自治会長 平山 美茂
元自治会長 橋口 誠人
元自治会長 大重 修二
元自治会長 宮野 光祥
元自治会長 宮野 ナチ子
元市情報公開・個人情報保護審査会会長 桐原 洋一
元市都市計画審議会委員 平野 哲寛

市景観審議会会長 中俣 知大
市景観審議会委員 永田 善三
天辰第一地区土地地区画整理審議会会長 上西 克幸
元教育長 上屋 和夫
元教育委員会委員長 三本 伴子
元教育委員会委員 柳田 利久
市スポーツ少年団本部長 勝田 芳孝
市文化財保護審議会会長 持永 八洲郎
市文化財保護審議会委員 丸目 直樹
元市軟式野球連盟会長 堂園 喜明
市美術協合理事 寺田 幸史
川内川に鯉のぼり上げる会会長 貴島 浩一
団体 川内大綱引保存会

薩摩川内市建設業協会会長

宇都 充弘

建設業を通じて地域社会に貢献

丸目 英隆

建設業を通じて地域社会に貢献

有村 義郎

薩摩地区獣医師会会長 桑原 貴久雄

団体 鹿児島県建設業協会川内支部

団体 鹿児島県建設業協会宮之城支部

団体 鹿児島県建設業協会鹿島支部

【一般篤行部門】

京都視覚障害者支援センター理事

松永 信也

特別表彰

(敬称略・順不同)

【新型コロナウイルススワクチンの 接種体制の構築などに尽力】

公益社団法人川内市医師会
公益社団法人薩摩郡医師会
一般社団法人川内薬剤師会
薩摩郡薬剤師会
薩摩川内市歯科医師会
鹿児島純心大学
鹿児島純心大学

【特別国民体育大会「燃ゆる感動 かごしま国体」の本市開催に尽力】

特定非営利活動法人薩摩川内市スポーツ協会
一般社団法人鹿児島県バスケットボール協会
一般社団法人鹿児島県空手道連盟
鹿児島県軟式野球連盟
鹿児島県ホッケー協会
鹿児島県ウエイトリフティング協会
薩摩川内市バスケットボール協会
薩摩川内市軟式野球連盟
薩摩川内市ホッケー連盟
薩摩川内市ウエイトリフティング協会
薩摩川内市スポーツ推進員協議会
薩摩川内市48地区コミュニティ協議会連絡会
社会福祉法人薩摩川内市社会福祉協議会
公益財団法人薩摩川内市民まちづくり公社
特定非営利活動法人川内スポーツクラブ01
薩摩川内市市長会(小・中学校)
川内薩地区高等学校校長会
学校法人川島学園 れいめい中学校・高等学校
鹿児島純心大学
公益社団法人川内市医師会
薩摩川内市歯科医師会
川内商工会議所
薩摩川内市商工会
株式会社薩摩川内市観光物産協会



薩摩川内市誕生 20周年記念イベント

木遣り唄

平成28年に発足した「薩摩川内火けし保存会」は、「木遣り唄」「纏隊」「腕用ボンブ隊」で構成されています。消防隊を活性化し、魅力ある組織として活動するため、伝統の演技披露などを通して、火災予防の啓発を行っています。

式典では、「木遣り唄」と「纏振り」の演技を披露していただきました。

「木遣り」とは、重い木や岩を大勢で運ぶ際、息を合わせるために唄った労働歌で、祝い唄などに形を変えながら、唄い継がれています。

「纏」とは、江戸時代に町火消しが使ったように、縄を振ることで火災現場の目印となり、また仲間を鼓舞する役目になっていたといわれています。



▲縄を振る様子

保存会からひと言

かつては労働歌だった木遣り唄を、祝い唄として現代にも受け継いでいることを誇りに思います。

木遣り唄を通して、皆さんに私たち保存会の土気が伝われば幸いです。

21年目のスタートを切る薩摩川内市とともにこれからも明るく、和気あいあいと活動していきたいと思っています。



お笑いライブ

キンボシによる鹿児島のコマーシャルに関連したネタやEverybodyの持ちネタである「クリティカルヒット」の本市バージョンなどが披露されました。

観客を巻き込んだネタに、会場は笑いに包まれ、大いに盛り上がりました。



▲キンボシ

将来
何になるのー？



▲みんなでクリティカルヒットをする様子

おいは わいのこつが ず〜〜と
わっぜ！わっぜ！わっぜ！すっじゃ！×2
クリティカルヒット！やった〜！



▲Everybody

二部のイベントは、薩摩川内火けし保存会 木遣り唄 纏隊による木遣り唄で始まり、キンボシ、Everybodyによるお笑いライブ、お笑いライブの出演者と記念式典ボランティアによるトークセッションを行いました。

トークセッション

将来の夢や、夢に向かって努力することの大切さなどについて、お笑いライブの出演者と20周年記念式典ボランティアによるトークセッションを開催しました。



夢は社会福祉士になること。
生活する中で、悩みを抱える人がたくさんいることに気付いた。
そんな人たちに必要な支援を行えるように一生懸命勉強中です。



何でもいから有名になりたい！
人前に出るのが大好きなんです。
それと、保育士になることも私の夢です。
持ち前の性格を生かして、みんなが笑顔で楽しく過ごせるような保育士になりたい。



昔から変わらない夢がある。
それは、薩摩川内市に貢献できる人になること。
いろいろな場所で経験を積み、知識を得て、またここに帰ってきます。

ボランティアを通して

- 市誕生20周年と自分自身も20歳ということに縁を感じた
- 和装でボランティア活動をする機会なんて珍しくて新鮮だった
- 「着物姿がすてきね」とたくさん褒めていただいた
- 多くの人に愛されている薩摩川内市であることを実感した
- とても緊張したけれど、和装でのボランティアや芸人さんとのトークセッションという新しい経験に、新しい人との出会い、どれも新鮮でとても楽しかった
- 市誕生20周年という節目に携わることができてうれしかった
- これからも薩摩川内市とともに成長していきたい

などなど、たくさんの感想をいただきました。



▲受け付け案内の様子

式典を盛り上げたボランティアの皆さん

記念式典では、鹿児島県美容生活衛生同業組合川内支部の協力のもと、無償で和装に着付けをしてもらったボランティア9人が活躍でした。
当日は、来場者の受け付け案内や式典終了後の見送りなど、式典を盛り上げるためにさまざまな活動をしていただきました。

市誕生20周年記念市主催事業を紹介します

記念植樹

5月5日(日)、寺山いこいの広場で、市誕生20周年を記念した植樹を行いました。未来を担う子どもたちと一緒に、本市の市木である「クロガネモチ」4本を植樹し、参加者には本市産ヒノキを使用したお守りなどの記念品を贈呈しました。



▲植樹に参加した子どもたち



▲植樹をしている様子



▲植樹したクロガネモチ

国重要無形民俗文化財指定記念 川内大綱引を未来へ綱GO!

令和6年3月に国の重要無形民俗文化財に指定された川内大綱引。

6月30日(日)、SSプラザせんだいで、「川内大綱引を未来へ綱GO!」と題して、シンポジウムを開催し、川内大綱引の魅力や映像の解説、パネルディスカッションなどを行いました。映画「大綱引の恋」の上映後、映画に出演した俳優の升毅さんの舞台あいさつも行われました。また、太鼓体験や綱練りの模型などの展示も実施し、その価値や魅力を再認識しました。

9月22日(日)には、425年目の川内大綱引が開催され、日中は大雨の中、多くの市民が綱練りに参加し、夜は、上方と下方の一番太鼓の合図で熱戦が繰り広げられました。



▲升毅さん



▲425年目の川内大綱引の様子



▲太鼓体験の様子

薩摩川内ファンデー

7月21日(日)、東京都で、薩摩川内ファンデーを開催しました。

このイベントでは、本市の特産品の販売や観光案内、移住相談などを実施しました。特産品の販売にはイベント開始前から行列ができ、来場者からは「甕島や卵を見てみたい」「場所が分かって親しみを持って」などの声が聞かれました。「故郷が懐かしい」と思い出話に花を咲かせる本市出身の方も多く来場され、本市の魅力を最大限に発信することができました。



市の魅力を
たくさん発信
できたっん



薩摩川内音楽祭 コカフェス2024

9月28日(土)・29日(日)、SSプラザせんだいで、薩摩川内音楽祭コカフェス2024を開催しました。これは次世代を担う本市の若者とアーティストが一体となったミュージックフェスで、SS広場では、吹奏楽や怪音楽、合唱などが披露されました。SSプラザせんだいでは、人気アーティストによるライブ演奏に加え、市内学生との合唱や、川内商工高等学校軽音楽部のベースストとのコラボレーションも行われ、会場は大いに盛り上がりました。



今後開催する市誕生20周年 記念主催事業

「清色城跡」国指定20周年記念事業
薩摩川内サムライアカデミー入来鑑覧券
日時：11月9日(土) 13時～17時
場所：入来文化ホール

内容：清色城跡や入来薩武家屋敷群の歴史と文化を分かりやすく楽しくするための講演会や伝統芸能演舞、パネルディスカッションの開催
※同時開催イベントの詳細は、市ホームページをご覧ください。



▲市ホームページ

「丸山」の森へ市民植樹祭
日時：令和7年1月26日(日) 10時～11時30分
場所：丸山公園隣接市有林(樋脇町塔之原)

内容：市民が憩いと安らぎを感じられる森づくりを目指した植樹

市主催事業や市誕生20周年記念の冠を付した行事は令和7年3月末まで開催します。詳細は市ホームページに掲載しています。ぜひ参加して、市誕生20周年をさらに盛り上げましょう。



▲市誕生20周年記念サイト



▲市誕生20周年記念事業カレンダー